

| | | | |
|--------|-------------------------------|---------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 1/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理番号: | JP-JA/19.0 |

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名: 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II)
Cat. No. 40900013 (part of 40900011)

CAS番号: 7601-90-3

EC 番号: 231-512-4

"官報公示整理番号" / "化審法
番号": -

容器サイズ: 60 ml

推奨用途及び使用上の制限

用途: 金属組織検査サンプルの電解調整用。

使用上の制限: 使用してはならないとされる用途は特にない。 (*)

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者: ストルアス社 (Struers ApS)
Pederstrupvej 84
DK-2750 Ballerup
Tel:+45 44 600 800

国内供給者: 株式会社ストルアス
〒141-0022東京都品川区東五反田3-14-13
高輪ミュージビル1F
ソリューションセンター
Tel:03-5488-6207
Fax:03-5793-1081

安全性データシートのオーサ
リングを担当。 安全性データシートのオーサリングを担当。 DHI
この安全性データシートの内容に対する質問の宛先はこちら :
struers@struers.dk

緊急連絡電話番号

公益財団法人 日本中毒情報センター (JPIC): 大阪中毒110番 (365日 24時間対
応) 072-727-2499, つくば中毒110番 (365日 9時 ~ 21時対応) 029-852-9999.

03-5488-6207 (株式会社ストルアス)
(営業時間のみ)

安全データシート

| | | | |
|--------|-------------------------------|---------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 2/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理番号: | JP-JA/19.0 |

2. 危険有害性の要約

化学品の分類

JIS Z 7253:2012に基づき分類:

酸化性液体1
急性毒性 (経口) 4
皮膚腐食性 / 刺激性1A
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 2

ラベル要素

(*)



危険

| | |
|--------------------|--|
| H271 | 火災又は爆発のおそれ：強酸化性物質。 |
| H302 | 飲み込むと有害。 |
| H314 | 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 |
| H371 | 臓器の障害のおそれ。 |
| P210 | 熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 |
| P220 | 衣類及び可燃物から遠ざけること。 |
| P280 | 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 |
| P303 + P361 + P353 | 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。 |
| P305 + P351 + P338 | 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| P310 | 直ちに医師 / に連絡すること。 |

他の危険有害性

蒸気は腐食性である。24-36 時間後、被災者は重大な息切れ及び肺浮腫を発生することがある。製品は、水中の酸性度 (pH 要素) に影響を及ぼすことがあり、水生生物に対する有害性作用のリスクを持つ。

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。

3. 組成及び成分情報

混合物

本製品は下記を含む：酸 及び 水。

安全データシート

| | | | |
|--------|-------------------------------|---------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 3/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理番号: | JP-JA/19.0 |

JIS Z 7253:2012に基づき分類:

| %: | CAS番号 | EC 番号: | "官報公示整理 番号" / "化審 法番号": | 化学名: | 危険有害性 ID | 注: |
|-----|-----------|-----------|-------------------------------|------------|--|----|
| 100 | 7601-90-3 | 231-512-4 | 1-221 | 過塩素酸 (60%) | 酸化性液体 区分1 急性毒性 (経口) 区分4 皮膚腐食性 / 刺激性 区 分1A 眼に対する重篤な損傷性, 区分1 特定標的臓器毒性 (単回 暴露) 区分2 | B |

4. 応急措置

応急措置の説明

吸入: 負傷者を空気の新鮮な場所にただちに移す。救急車を手配する。肺浮腫 (息切れ) の症状は、暴露後、発症までに最大24時間かかることに留意する。また、これらの指示書を持参する。

皮膚への接着: 大量の水でただちに洗い流し、汚染した衣服を脱がせる。救急車を手配する。病院への搬送中に引き続き洗い流す。また、これらの指示書を持参する。

眼に入った場合: ただちに大量の水で洗い流す。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。救急車を手配する。病院への搬送中に引き続き洗い流す。また、これらの指示書を持参する。

経口摂取: すぐに毒物センター/医師に連絡してください。口をゆすいでください。無理に吐かせないでください。医師の診断を受けるまで何も飲ませないでください。この説明書を手元に置いてください。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 / 影響: 健康に関する影響と症状の詳細については項目11を参照してください。

医師に対する特別な注意事項

医学的措置 / 治療: 症状を治療する。

安全データシート

| | | | |
|--------|-------------------------------|-------------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 4/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理 番号: | JP-JA/19.0 |

5. 火災時の措置

消火剤

消火剤: 水霧で消火する。

使ってはならない消火剤: 特別な対策はない。

火災時の特有の危険有害性

特殊な危険有害性: 加熱すると爆発することがある。可燃性物質と接触すると、火災を発生することがある。大火災の場合で大量にある場合: 区域から退避させ、爆発の危険性があるため、離れた距離から消火すること。加熱及び火災により、毒性蒸気/ガスが生成されることがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護具: 消火時の呼吸保護の選択: 職場で指定された一般的火災対策に従う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急社員用: 蒸気の吸入ならびに皮膚及び目への接触を避ける。保護措置に関しては項目 8 を参照。

緊急対応要員用: 推奨事項は特にない。保護措置に関しては項目 8 を参照。

環境に対する注意事項

環境対策: 排水溝、水路または地面に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法: 不燃性吸湿材で漏洩物を吸収する。大量の水で漏洩工リアを洗い流し、清掃する。

その他の節の参照

参考資料: 保護措置に関しては項目 8 を参照。廃棄物処理に関しては項目 13 を参照。

安全データシート

| | | | |
|--------|-------------------------------|---------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 5/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理番号: | JP-JA/19.0 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全な取扱いに関する勧告: 蒸気の吸入と皮膚及び目への接触を避ける。化学物質の適切な取扱いと衛生習慣を守る。

技術的措置: 作業時は、接触を最小限に抑えなければならない。爆発性過塩素酸塩が生成する可能性がある。過塩素酸溶液が乾燥しないように注意し、簡単にアクセスできない場所に保管すること。

技術対策: 機械通風装置が必要となる。

保管

安全な貯蔵に関する技術的措置: 特別な注意事項なし

貯蔵状態: 厳重に密閉した元の容器で貯蔵する。換気のよい涼しい場所に貯蔵する。熱源付近または高温に暴露される場所に貯蔵してはならない。他の化学物質（酸化剤）に触れないように保管する。衣服、還元剤、可燃性物質から離して保管してください。

具体的な最終用途

具体的な用途: 使用可能な情報はない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

職業曝露制限値は指定されていない。

設備対策

設備対策を: 作業場には洗眼ボトルを用意しなければならない。
適切な換気を供給する。

人体の保護: 個人用保護具は、CEN 標準に準拠し、個人用保護具供給者と相談して選択しなくてはならない。

呼吸用保護具: 換気が不適切な場合は、送気全面マスクを使用する。

手の保護具: 保護手袋を着用する。ニトリル製手袋を推奨する。手袋材料の浸透時間について情報を提供できる手袋供給者と協力し、最適な手袋を選ばなければならない。

眼の保護具: ゴーグル/顔面シールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 飛散する場合は、エプロンまたは保護衣を着用する。

環境暴露管理: 該当なし。

安全データシート

製品名: 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II)
最終改訂日: 2019-11-22
文書番号: M0003

ページ数: 6/10
印刷日付: 2019-11-22
安全データシート整理番号: JP-JA/19.0

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理化学的特性に関する情報

| | |
|--------------------|---|
| 形態: | 液体 |
| 色: | 無色 |
| 臭い: | 無臭 |
| 臭気閾値: | 該当なし。 |
| pH: | < 1 |
| 融点: | 該当なし。 |
| 沸点: | 160°C |
| 引火点: | 該当なし。 |
| 蒸発速度: | 該当なし。 |
| 可燃性 (固体、気体): | 該当なし。 |
| 爆発性: | 該当なし。 |
| 蒸気圧: | 該当なし。 |
| 蒸気密度: | 該当なし。 |
| 比重: | 該当なし。 |
| 溶解性: | 水に溶ける |
| 分配係数 (n-オクタノール/水): | 該当なし。 |
| 自然発火温度 (°C): | 該当なし。 |
| 分解温度 (°C): | 該当なし。 |
| 粘度: | 該当なし。 |
| 爆発性: | 75°Cを超えると爆発的に分解する可能性がある。脱水の結果、自然爆発する可能性がある。 |
| 酸化特性: | 該当なし。 |

その他のデータ

他のデータ: 揮発性有機化合物 (VOC) : 0 g/l (計算)

安全データシート

| | | | |
|--------|-------------------------------|---------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 7/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理番号: | JP-JA/19.0 |

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性: 加熱すると爆発することがある。

化学的安定性

安定性: 通常の温度条件の下で安定。

危険有害反応可能性

危険有害な反応: 金属との接触で水素ガスを生成し、空気と共に爆発性混合物を生成する。

避けるべき条件

避けるべき状態/物質: 熱、炎及び他の発火源を避ける。酸化、還元剤との接触を避ける。衣服、還元剤、可燃性物質から離して保管してください。

混触危険物質

不適合物質: 金属。還元剤。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物: 加熱または燃焼した場合、毒性のある塩化水素が形成される可能性がある。

11. 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

急性毒性 (経口): 飲み込むと有害。

急性毒性 (経皮): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

急性毒性 (吸入): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

皮膚腐食性/刺激性: 重度の熱傷を起こす。

眼に対する重篤な損傷性

又は眼刺激性

呼吸器または皮膚感作性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

発がん性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

生殖毒性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

特定標的臓器毒性 (単回曝露): 臓器の障害のおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復曝露): 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。

吸入した場合 蒸気は腐食性である。24-36 時間後、被災者は重大な息切れ及び肺浮腫を発生することがある。

経口摂取: 強腐食性。少量でも致命的なことがある。症状は、口、喉及び胃の重度の灼熱痛。

特有の影響: 職業暴露による長期的影響のリスクは、微小と見なされる。

安全データシート

| | | | |
|--------|-------------------------------|-------------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 8/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理 番号: | JP-JA/19.0 |

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性: 製品は、水中の酸性度 (pH 要素) に影響を及ぼすことがあり、水生生物に対する有害性作用のリスクを持つ。

残留性・分解性

分解性: 製品の分解性は表明されていない。

生態蓄積性

生物濃縮性: 生物濃縮性に関する使用可能なデータはない。

土壤中の移動性

移動性: 使用可能なデータはない。

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。

その他の有害影響

その他の有害影響: 使用可能な情報はない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

汚染容器及び包装: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

安全データシート

| | | | |
|--------|-------------------------------|---------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 9/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理番号: | JP-JA/19.0 |

14. 輸送上の注意

製品は、危険物の輸送に関する国際規制 (IMDG、ICAO/IATA) の対象となります。

国内規制

海上規制情報: 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報: 航空法の規定に従う。

陸上規制情報: 消防法の規定に従う。

国連番号

UN 番号: 1873

品名

品名: 過塩素酸

IMDG追加情報:

EmS: F-A, S-Q

MFAG: 1

国連分類

国連分類: 5.1 (8)

容器等級

PG: I

海洋汚染物質

海洋汚染物質: いいえ。

環境有害物質、固体: いいえ。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

特別な注意事項: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。移送時にイエローカードの保持が必要。
緊急時応急措置指針番号: 143

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送: 該当しない。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

国内規制: 化審法
JIS Z 7252:2014. GHS に基づく化学物質等の分類方法.
JIS Z 7253:2012. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び 安全データシート (SDS)

安全データシート

| | | | |
|--------|-------------------------------|-------------------|------------|
| 製品名: | 電解液 A3-II (ELECTROLYTE A3-II) | ページ数: | 10/10 |
| 最終改訂日: | 2019-11-22 | 印刷日付: | 2019-11-22 |
| 文書番号: | M0003 | 安全データシート整理 番号: | JP-JA/19.0 |

16. その他の情報

使用者は、正しい作業手順について指示され、これらの指示書の内容に精通していなければならない。

以下の項目は、改定または新たな記述を含む。: 1, 2.

(*)は、前バージョンからの変更を示す。

DHIによって認可。

Allan Vorup

その他の情報: GHSによる分類:
計算方法。

本データシートの情報は当社の最新のデータであり、本製品が規定された条件下で、かつ、パッケージおよび/または技術手引文書に指定された適用方法に従って使用されれば、信頼できるデータである。本製品を他の製品や他のプロセスと組み合わせて使用するなど、規定外の使用をした場合はその使用者が責任を負うものとする。

DHI-環境毒物学部によって制作された文書、DHI現住所: Agern Allé 5、DK-2970 Hørsholm、デンマーク。
HP: www.dhigroup.com.
